



【現地情報】ブルンジにおけるエムポックス（サル痘）発生について

【ポイント】

- 7月25日木曜日、ブルンジ保健省は、同国内で3名のエムポックス（サル痘）陽性者確認を発表。
- 保健省の発表によれば、陽性者は3名とも回復に向かっているほか、濃厚接触者も特定され、必要な措置が講じられています。
- エムポックスは、ヒト及び動物の両方に感染する感染症で、発熱、頭痛、咽頭痛、だるさ、結節種、筋肉痛、全身の発疹等の症状を引き起こし、非常に感染力が強く、最悪の場合死に至ることもあります。

【本文】

- 7月25日木曜日、ブルンジ保健省は記者会見を行い、同国内で3名のエムポックス（サル痘）陽性者確認を発表しました。7月22日に3つの国内医療施設において3件の発症疑い（発熱、関節痛、全身の発疹）が報告され、その後検査の結果、3件の陽性が確認されています。
- 保健省の発表によれば、陽性者は3名ともに回復に向かっているほか、濃厚接触者も特定され、必要な措置が講じられています。
- 同省からは、エムポックスについて以下のように注意を促しています。
 - ・ エムポックスはヒト及び動物の両方に感染する感染症で、発熱、頭痛、咽頭痛、だるさ、結節種、筋肉痛、全身の発疹等の症状を引き起こし、場合によっては肺、目、消化器、脳等の気管に炎症を引き起こす。非常に感染力が強く、治療が遅れれば最悪の場合死に至ることもある。
 - ・ 感染者との物理的接触、間接接触、感染者及び動物からの分泌物、さらには近距離での飛沫等で感染する。
 - ・ きれいな水と石鹸を使った手洗い、アルコール消毒、そして上記症状を示す人との接触を避ける。
 - ・ 少しでも感染が疑われる場合は、最寄りの医療機関へ相談する。
- 陽性となった場合には、当館領事班までご連絡ください。
- 参考情報

厚生労働省「エムポックスについて」

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou/kekaku-kansenshou19/monkeypox_00001.html

※このメールは在留届、たびレジに登録されたメールアドレスに配信されております。

※「たびレジ」簡易登録をされた方で、メールの配信を変更・停止されたい場合は、以下の URL から停止手続きをお願いいたします。

<https://www.ezairyu.mofa.go.jp/tabireg/simple/delete>

※災害や騒乱等が発生した際、ご家族、ご友人、同僚を守るため、一人でも多くの方に安全対策に関する情報が届くよう、在留届（3か月以上の滞在）の届出、又はたびレジ（3か月未満の滞在）の登録を、お知り合いの方や出張者・旅行者にご案内いただけますようお願いいたします。

緊急時の連絡は、下記連絡先までお願いいたします。

在ルワンダ日本国大使館（ブルンジ兼轄）

領事班（電話：+250-788-385-404／メール：rwanda-consul@kq.mofa.go.jp）

https://www.rw.emb-japan.go.jp/itprtop_ja/index.html